



大地の実り

水戸市立下大野小学校
学校便り NO. 2
平成28年5月2日

平成28年度 下大野小学校の教育

学校経営のキーワード

生きている学校

子どもが生きている学校
地域が生きている学校

職員が生きている学校
自然の移ろいが生きている学校

学校教育は、子どもたちがグローバル化や変革の激しい社会の中で、自分の前向きな価値のよさを十分に発揮しながら、周りの人と協力し合い、自立して生きていく力を身に付けさせるためにあります。その子らしさが学校の中で十分に発揮されて磨かれ、職員一人一人もその持ち味で子どもたちを伸ばし、そして、下大野の地域のよさが学校教育の中でも生かされ、学校を取り巻く四季折々自然の変化が子どもたちの豊かな感性に浸透していくような、そんな学校づくりを目指します。

今年度の組織目標

意図的なかかわり合いを仕組み、子どもを伸ばす

前年度、職員で下大野小学校のインナーブランディング（自分たちの学校のよさを再認識すること）を行いました。子どもも職員も、自分たちのよさを認識してそれを大事にすることは大切です。

- ・素直でやさしい児童が多い。 ・三世代のよさが表れている。 ・全学年の仲が良い。
- ・個に応じた指導ができる。 ・地域の方やPTAの方々が協力的で学校思い。・・・他

また、一方で少人数のデメリットを克服することも考えました。

閉塞的な人間関係の打破。積極性を育てたい。より広い世界に目を向けさせることも必要・・・。

そこで、今年度の組織目標は、意図的に「かかわり」（子ども同士、大人の人、周りの学校、社会事象・・・）を仕組むことによって、子どもたちをよりよく伸ばすことを組織目標としました。

教育活動や職員の研修で力を入れること

子どもたちへのスローガン

元気 本となかよし 自分で勉強

- 子どもたちの元気な挨拶が飛び交う学校にします。5分間走など運動も積極的に行います。
- 読書活動を推進します。
- 自分で勉強する自学力を育成します。（宿題のほかにも自分で計画して）

その他

- ・ みろく囃子の継承 ・ 英会話の研究の継続 ・ 学び合いの学習の研究（英会話や算数を主に）
- ・ しもたんタイムの設定（補充学習や発展学習） ・ 常中学区小中一貫教育の推進
- ・ 校舎改築に伴う行事（創立記念集会や学校へようこそ等）を生かした豊かな「心」の育成 等

今年度も、ご協力、よろしくお願いいたします。

平成28年度 下大野小学校グランドデザイン

目指す児童像

心やさしい子
たくましい子
よく学ぶ子

学校教育目標

明るく人間性に富み、自主性・創造性豊かな
心身共に健全な児童の育成

目指す学校像

元気あふれる楽しい学校
認め合い高め合える学校
地域とともに歩む学校

組織目標

意図的なかかわり合いを
仕組み、子どもを伸ばす

「下大野小のよい子」を育てるために

一人一人の子どもに「目をかける 心をかける 語りかける」教師でありたい
一人一人の子どもが「笑顔で登校 笑顔で学び 笑顔で帰る」学校でありたい

常澄中学校区小中一貫目標

学び合いを通して 自分の考えをもち 表現できる子
思いやりの心をもって行動できる子 進んでからだをきたえる

<確かな学力>

学び合いを通して考える力を育む

- 自分の考えを生かす学び合いの授業実践
- 学力向上のためのドリルタイム、しもたんタイムの充実
- 家庭学習の充実と保護者との連携の強化
(課題の工夫や自学の推進)

<豊かな心>

交流活動を通して、温かい人間関係を育む

- 帰りの会や学級活動等でのお互いのよさを認め合う機会の設定
- 異学年交流や集会活動など様々な交流体験の推進
- 活動目標の設定と振り返りの充実

<健康でたくましい体>

仲間との交流を通して、健全な心身を育む

- 5分間走、なわとび運動の実施等による運動量の確保(体力テストA+B 70%以上の達成)
- 基本的な生活習慣の確立
(「よい子の一日」の活用と「生き生き生活チェック」での家庭との連携等)
- 養護教諭・栄養教諭や諸機関と連携した健康教育と食育の推進

今年度の校内研究テーマ

学び合いを通して 自分の考えをもち 表現できる子の育成
— 英会話の活動におけるかかわり合いを生かして—

学校経営のキーワード

生きている学校

子どもが生きている学校

地域が生きている学校

職員が生きている学校

自然の移ろいが生きている学校